

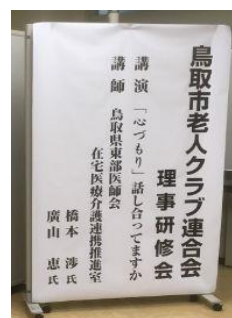
在宅医療・介護連携推進事業：住民啓発（事例）

鳥取市老人クラブ連合会理事研修会

テーマ： 「心づもり」話していますか

日時： 平成30年12月5日（水） 14：40～16：10（90分）

場所： さわか会館3階多目的室 参加者： 35名



【内容】 DVD「我が家に帰りたい」、パンフレット「さいごまで自分らしく豊かな人生のためのわたしたちの心づもり」、終活支援ノート「わたしの心づもり」を使ってのACP啓発。

（概要）

鳥取市の老人クラブ連合会理事の研修会で、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）についてお話ししました。前半は、健康寿命を延ばすには、DVD第一幕を活用して最近の医療制度や在宅で暮らすために地域包括ケアが大切というお話しをしました。

後半は、DVD第二幕を見た後、看取った経験談や自分なら最期どうして欲しいか、して欲しくないかを参加者で話し合いました。ACPパンフレット、終活支援ノート「わたしの心づもり」を用いて、ACPの概要や大切さを説明し、考えたり話し合ったりすることが、今を大切に生きることに繋がりますとお話ししました。



【講師感想】

男性参加者の比率が高い研修会でした。男性は比較のおとなしめな方が多いですが、社会活動を積極的に行なっておられる方々なので話し合いも積極的でした。社会活動を行なっている方が健康の度合いが高いといわれるのが目に見えました。終活について、子ども世代がなかなか話しを聞いてくれないという意見もあり、やはり高齢者だけではなく、幅広い年代への啓発が必要だと感じました。

（講師：東部医師会在宅医療介護連携推進室・橋本渉）

この研修の計画担当者に「終活という内容が企画時点で不安であったが、研修を経験して良かった。」と感想を述べていただきました。また、会長をはじめとして、人生の大波、小波を乗り越えた皆様が、頷づいたり、発言をされたり、考えながら参加して頂いたので、楽しくお話しをさせていただきました。パンフレットなどで、家族での会話の方向性などを考えていただけるのではないかと思います。

（講師：東部医師会在宅医療介護連携推進室・廣山恵）